

報道関係者各位

2018年1月12日

大東建託が協賛する福島・東北の復興イベント 「はるか2018～戊辰の風 花の雲～」開催決定

大東建託グループは、「大東建託グループみらい基金」が、2016年から協賛している「fukushima さくらプロジェクト」プロジェクトマッピングイベント「はるか2018～戊辰の風 花の雲～」の開催が、2018年3月23日-24日および、4月7日に決定しましたのでお知らせします。

当イベントは、毎年福島県内の1会場で開催していましたが、6年目の今回は、2018年に迎える戊辰150周年にちなみ、その舞台となった福島県会津若松市の鶴ヶ城と白河市の白河小峰城の2会場で行うこととなりました。

大東建託グループは、東日本大震災からの復興を願い、福島や東北、さらには全国を応援することを目的とした当イベントへの協賛を通じて、復興機運の風化防止に努めてまいります。

■プロジェクトマッピングの見どころ

2018年度のイベントのテーマは、「戊辰の風 花の雲」。1868年に起きた戊辰戦争において福島の人々は武士道の精神を貫きましたが、この戦いによって多くの命が失われ、苦難の道を歩むことになりました。ところが、福島の人々は立ち止まることなく未来に向かい歩み続け、ふるさとの再建と新しい日本の創出に力を尽くしました。このように福島に息づく“試練に立ち向かう勇氣”と“不屈の魂”をプロジェクトマッピングによって、鶴ヶ城と白河小峰城に描きます。

■プロジェクトマッピングが県内の学校へ出張

福島・東北を応援する復興のシンボルである、新種の八重桜「はるか」には“はるかかなたの未来にまで広がってほしい”という想いが込められています。この想いを福島県内の子どもたちにも届けるため、福島県内の学校を巡回し、校舎へ投影する出前授業「学校でプロジェクトマッピング！」も実施する予定です。



【復興のシンボル「はるか」】
写真提供：森林総合研究所

■開催概要

名称：「fukushima さくらプロジェクト」プロジェクトマッピングイベント「はるか2018～戊辰の風 花の雲～」

主催：fukushima さくらプロジェクト

後援：福島県

日程：＜会津若松編＞

開催時期：2018年3月23日(金)-24日(土)

開催地：〒965-0873 福島県会津若松市追手町1-1(鶴ヶ城)

観覧募集：2018年1月開始予定

＜白河編＞

開催時期：2018年4月7日(土)

開催地：福島県白河市郭内1(白河小峰城)

観覧募集：2018年3月上旬開始予定

＜出前授業「学校でプロジェクトマッピング！」＞

開催時期：2018年1月下旬予定

開催地：福島県内の学校(複数ヶ所)



【メインビジュアル】

■大東建託グループ みらい基金とは

大東建託グループでは、従業員と会社の共同基金「大東建託グループ みらい基金」を2015年4月から開始し、「地方創生」や「災害復興」に寄与する活動・団体を支援しています。

詳細ページURL：<http://www.kentakaku.co.jp/mirai/>



＜本件に関するお問い合わせ＞

大東建託株式会社 経営企画室 広報CSR課 TEL:03-6718-9174